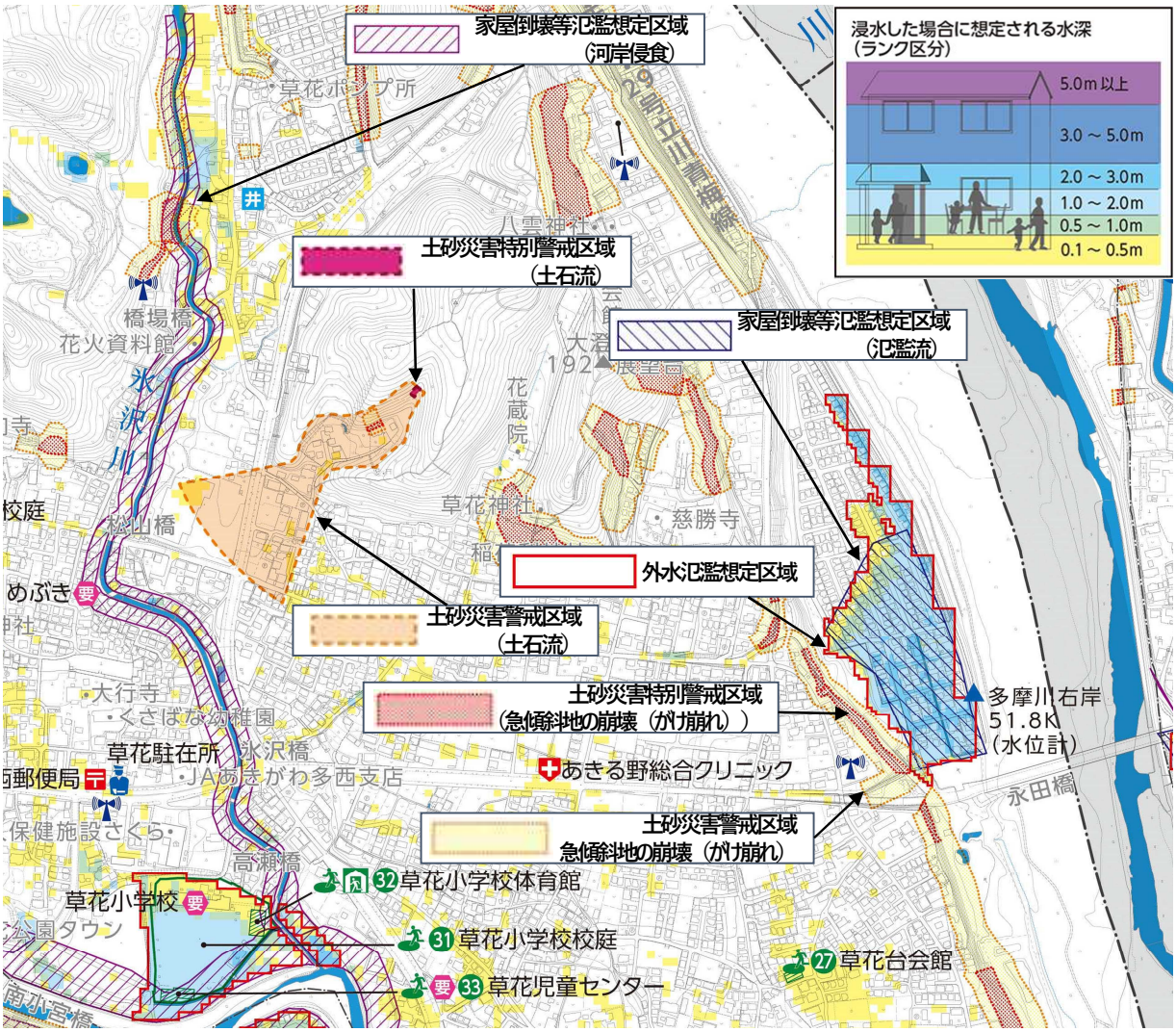
そなえ防災

あきる野市防災・安心地域委員会

令和７年２月
（第２５号）
発行責任者
防災・安心地域委員会
本部長　安 藤　卓

大規模災害に備えて「ハザードマップ」を確認しましょう



※令和6年度版あきる野市土砂災害・水害ハザードマップ の**一部を抜粋**

令和6年度版あきる野市土砂災害・水害ハザードマップが全世帯に配布されました。
上の図ではハザードマップの一部を抜粋し、主なリスク情報がどの色分けで表示されているのか示しました。この機会にお住まいの地域のハザードマップを確認し、災害に備えましょう。

ポイント　ハザードマップで確認すること

☑自宅の場所　☑避難場所　☑避難経路
☑浸水した場合に想定される水深（ランク区分）
☑危険区域（土砂災害・水害の区域に該当していませんか）

ハザードマップを確認し活用しましょう

水害の種類

■外水氾濫（※1）
台風や大雨で河川の水位が上昇し、想定している水位以上になると河川内の水が堤防を越えたり、堤防を決壊させることで発生する浸水です。

■内水氾濫（※1）　　の外側
大量の雨が下水道に流れ込み、雨水を排水しきれずにマンホールや道路側溝などからあふれ出すことで発生する浸水です。

■家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
一般的な構造の木造2階建ての家屋が流出・倒壊するような氾濫流が洪水等に伴って発生するおそれがある範囲を示しています。屋内安全確保の適否の判断などに使用します。

■家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）
洪水の流れによって河岸が侵食されるおそれのある範囲を示しています。侵食範囲にある家屋は、倒壊・流失の危険があります。

※1　令和6年度版あきる野市土砂災害・水害ハザードマップでは「**外水氾濫想定区域**」という赤枠の表示が追加され、**赤枠内**が**外水氾濫**、**赤枠の外**が**内水氾濫**のリスクが想定されています。

土砂災害の種類

土砂災害とは、山やがけが崩れたり、崩れた土砂が雨水や川の水と混ざって流れてきたりすることによって人命が奪われたり、建物を押しつぶしたりする災害で、大雨や地震などがきっかけで発生します。

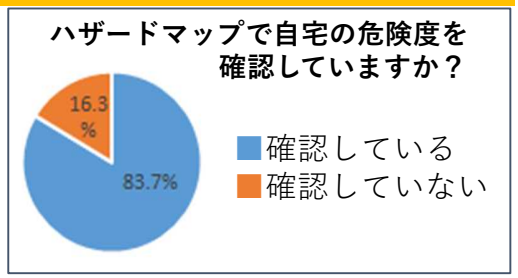
■急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）　土砂災害特別警戒区域　　土砂災害警戒区域
地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象。

■土石流　土砂災害特別警戒区域　　土砂災害警戒区域
山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。

■地すべり　土砂災害特別警戒区域　指定無し　土砂災害警戒区域
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。

ハザードマップの意識調査

防災・安心地域委員会では、令和6年11月9日・10日に開催された産業祭の来場者へ防災の普及啓発、防災アンケート（回答者：541人）を実施しました。
ハザードマップで自宅の危険度を確認していますか？という質問に対して**確認をしている**と答えた方は**8割を超える結果**となりました。



ハザードマップは、7つの地域（東秋留、西秋留、多西、増戸、五日市、戸倉、小宮）ごとに作られており、左記の2次元コードから確認できます。